



タイ・プラント市場最前線

2019年2月22日

(株)重化学工業通信社
ENN・重化学工業新報・JkNews編集長
丸田 敬

ENN／重化学工業新報



<small>（昭和48年10月1日）第三種郵便物認可（通）第100号（本・全版別紙）</small> THE HEAVY & CHEMICAL INDUSTRY NEWS 週2回刊 雑誌料金 1年（本誌55,000円＋税） プラント貿易・企業海外投資・大型エネルギー・インフラ開発 半年（本誌30,000円＋税） 重化学工業新報 編集 重化学工業通信社 発行人代表者 吉田耕造 〒105-0804 東京都千代田区神田四丁2-11 編集室 電話 03-5267-5331（代） Fax 03-5267-5333 〒105-0802 東京都港区赤坂7丁目1-12-4-5400 電話 06-6346-9959 Fax 06-6346-9959 <small>（本誌記事の無断転載を禁じます）</small> JNews（ジェイクイニュース）では重化学工業新報の記事をメールにて週2回配信。詳細は jnews.jp を御覧下さい。	
2019年2月5日（火）発行 第8080号	
注目プロジェクト	◇千代田、ゴールデンパス LNGを2月中に受注 2 — 今期受注目標8,500億円の達成に着手 —
製鉄・非鉄	◇新日鉄住金〜ミタル、印エッサールのハジラ製鉄所でCGL導入検討 2 — 新日鉄住金エッジ、SISDIが受注へ — ◇新日鉄住金エッジ、中・舞鋼中加鋼鉄から乾式脱炭設備を受注 3 ◇プライメタルズ、中・東産製鉄からスラブ連続機を受注 3
エネルギー・化学	◇TOYO、露イルクーツから石油化学プラントプロジェクトを受注 4 ◇トーヨーコリア、タイで石油化学プラントプロジェクトのEPCを受注 4
交通システム	◇フィリピン運輸省、メトロマニラ地下鉄の土木工事で入札を公示 5 ◇鉄建建設〜愛亀、カンボジアで国道改修工事を受注〜99億円 7 ◇三菱重工エッジ、米タンパ空港の全自動無人運転車両を追加受注 7 ◇住商〜豊通〜JOIN、ミャンマーの港湾ターミナル運営へ出資 8
電力	◇MHP S、ブラジルのガス火力発電所向けガスタービンを受注 8 ◇東芝アメリカエナジー、米ガス火力発電所向け長期保守契約を受注 9 ◇台湾電力、通霄発電所でガス火力発電設備建設〜新計画も浮上 9 ◇三菱重工、英ヒンクリーポイントC原発建設向けポンプを受注 10
水処理	◇丸紅、サウジの海水淡水化事業に出資・運営〜総事業費600億円 10 ◇サウジのジェッダ・エアポート下水事業、マラフィックが落札 11 ◇台南市、台湾・城西ごみ焼却プラントの改修・運営事業を計画 12
企業戦略	◇IH I、新航空機転用型ガスタービンパッケージを市場投入 12 ◇米マクダーモット、洋上ガス圧縮プラットフォームのEPC受注 13 ◇テクニップFMC、北海で海底生産設備のEPC受注 13 ◇アラムコ〜アークセンズ〜テクニップ、石油精製の技術開発で協業 14 ◇米GE、電力部門から再エネ部門への資産移管を発表 15
受注リスト	◇日本企業のプロジェクト受注リスト＜2018年12月掲載分＞ 15 製鉄・非鉄／水処理／ごみ発電／都市開発

海外プラントP・E成約実績上位10カ国の推移

(単位：億ドル)

	2010年度			2011年度			2012年度			2013年度		
	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合
1	カタール	30.3	13.0%	オーストラリア	73.1	26.6%	ベトナム	67.8	27.1%	トルコ	34.9	15.7%
2	パプア ニューギニア	23.4	10.0%	台湾	24.8	9.0%	パキスタン	26.2	10.5%	台湾	25.6	11.5%
3	インドネ シア	20.9	9.0%	エジプト	24.3	8.8%	カザフ スタン	16.8	6.7%	米国	19.3	8.7%
4	中国	14.9	6.4%	韓国	22.7	8.3%	サウジア ラビア	15.1	6.0%	ベトナム	17.9	8.1%
5	台湾	14.0	6.0%	タイ	17.6	6.4%	英国	14.1	5.6%	マレーシ ア	17.5	7.9%
6	米国	13.1	5.6%	トルコ	12.9	4.7%	インド ネシア	13.2	5.3%	インド	14.4	6.5%
7	ロシア	11.8	4.9%	マレーシ ア	12.5	4.6%	中国	10.8	4.3%	トルクメ ニスタン	10.4	4.7%
8	タイ	10.7	4.6%	中国	12.1	4.4%	エジプト	9.3	3.7%	タイ	10.0	4.5%
9	UAE	10.7	4.6%	インドネ シア	9.2	3.3%	米国	8.9	3.6%	シンガ ポール	9.5	4.3%
10	ベトナム	10.5	4.5%	アンゴラ	9.1	3.3%	台湾	8.8	3.5%	ロシア	7.6	3.4%
	上位10カ 国計	160.0	68.7%	上位10カ 国計	218.2	79.4%	上位10カ 国計	191.0	76.3%	上位10カ 国計	167.1	75.2%

タイのプラント市場の特徴

- コストが厳しい（1990年代には、わが国では「コントラクターの墓場」と言われた）。
- プラントの買い方がうまい（最も安い価格を引き出すために、競争関係を作り出すのに長けている）。
- 1990年代に、世界的にも最も早く、韓国のコントラクターを受け入れた。
- 最近では、韓国、中国、台湾、欧州のエンジニアリング企業がひしめく市場に。
- わが国のエンジニアリング企業が受注できるのは最近、日本企業の進出案件が中心。

現在タイで計画されている化学プロジェクト

国	プロジェクト名	事業主体	進捗状況
タイ	マプタプット ソフタノール製造プラント	日本触媒～現地 P T T G C～三井物産	2019年1月に入札告示予定も遅延。2018年春に実施された P Q には、T O Y O～現地 T T C L、三菱化工機、月島機械、東芝プラントシステム、日揮、千代田が P Q 参加。 F E E D を T O Y O が実施。
	マプタプット 苛性ソーダ、VCM、PVC プ ラントの増強	ビニタイ	2019年2月、環境アセスメント中。2018年9月、検討開始。
	マプタプット アロマティクスプラント建 設プロジェクト	I R P C	2019年1月末に I T B 発行。3月末に入札予定。応札予定企業は、伊 S A I P E M～台 C T C I、韓・現代エンジニアリング、中 S I N O P E C、韓 S K 建設～韓サムスンエ ン지니어リング
	マプタプット 永久帯電防止剤製造設備 (1,500t/d)	サンヨーカセイ（タ イランド）リミテッ ド	2019年2月、計画を発表。2021年4月稼働。

現在タイで遂行中の主な化学プロジェクト

国	プロジェクト名	事業主体	進捗状況
タイ	シラチャ製油所 近代化・能力増強	タイオイル社	2018年10月、英Petrofac~伊Saipem~韓サムスンエンジニアリングが正式に受注。 2018年4月に入札が実施され、日揮~韓GS建設~スペインTR、英Petrofac~伊Saipem~韓サムスンエンジニアリングの2グループが応札も、日揮グループは早期に撤退。
	マプタプット 第2期LNGターミナル増 設プロジェクト	PTT LNG	2016年6月、伊Saipem~台CTCIが正式に受注。
	マプタプット エチレンプラント増設プロ ジェクト設計・調達（エチ レン年産90万トン、プロピ レン80万トン）	マプタプットオレ フィン（サイアムセ メント系）	2018年6月、東洋エンジニアリングが受注
	マプタプット エチレンプラント増設プロ ジェクト工事・調達（エチ レン年産90万トン、プロピ レン80万トン）	マプタプットオレ フィン（サイアムセ メント系）	2018年6月、現地TTCLが受注
	マプタプット ブタジエン誘導品プラント	クラレ~PTTGC~ 住友商事	2018年12月、日揮が受注。東洋エンジニアリング~現地TTCLは失注。
	マプタプット エラストマーコンパウンド 製造プラント	トウアゴウセイタイ ランド	2018年5月、月島機械が受注。
	マプタプット ブタジエ・ブテンー1製造 プラント	バノコク・シンセ ティック社	2018年1月、トーヨーコリアが受注。

メンテナンス工事会社のタイ進出状況（１）

山九

- 1988年2月に山九タイを設立

山九タイの事業：海上貨物取扱業、陸上貨物取扱業、航空貨物取扱業、通関業、
倉庫業、工事請負、修理保全業、製缶業、荷主代行業

1988年11月にタイバージコンテナサービス社設立：物流

1990年に山九レムチャバン：物流

近年、プラントエンジニアリングに注力。今年1月には、シンガポールの三井化学現地法人である三井エラストマーシンガポール社からタフマープラントのE P Cを受注

インドネシアのアサヒマスケミカル向けP V Cプラント増設計画でも、

山九インドネシアが増設プロジェクトに協力

メンテナンス工事会社のタイ進出状況（１）

高田工業所

■ 高田アジア社

2012年12月25日にバンコクにタイ高田を設立

2015年12月、菊池タイ Kikuchi Industry (Thailand) Co.,Ltd.を子会社化

（菊池タイは、タイ石油公社と直接取引を行っている日系配管工事会社で、日系企業のタイ進出時の工事建設などに対応するなど、タイでの事業基盤を確立している。株式取得により、タイ高田が菊池タイの施工技術・施工能力を発展・拡大させ、タイにおける事業の拡大を図る。

2017年2月にアジア統括会社（シンガポール・マレーシア）にする目的で高田アジア社に社名変更。


メンテナンス工事会社のタイ進出状況（１）

新興プランテック

- 新興プランテック・タイランド、SHINKO PLANTECH (THAILAND)CO.,LTD.
2011年6月、バンコクに設立（事業内容：石油、化学、製鉄、薬品、食品などのプラント建設工事およびメンテナンス）
設立時期に、日本ゼオンのタイ現地法人であるゼオン ケミカルズタイランド向けにトラフィックペイントの製造プラントのE P Cを受注。
同プロジェクト期間中の2011年にタイの洪水に遭遇するなど、プロジェクトでは、多額の追加コストが発生した。
2017年5月、新興プランテック・タイランド
SHINKO PLANTECH (THAILAND)CO.,LTD.の事業撤退を決定。

タイのプラントメンテナンス事情

- バルブのメンテナンスは地元業者がいて、現地の石油・石油化学メーカーが活用している。
- 日系のプラント工事会社も進出しているが、仕事を受注するのに難航している。
- 山九は物流と機工事業で進出しているが、タイにおいては、物流事業のウェイトが高いもよう。機工は物流に比べて小さい。
- 新興プランテックは、2011年にプラント建設のE P Cとともに進出したが、良い業者に巡り合えず、プロジェクトが不採算となり、結果的に2017年に撤退を決めた。
- 高田工業所も菊池タイと出会うまでは、厳しい事業展開を余儀なくされた。
- タイの石油化学メーカーでは、日本のメンテナンスを求めるが、パーツ供給ではないか。



御清聴、ありがとうございました。